

町政座談会（阿須那地区）

日 時 令和6年1月28日（金）
18：30～20：00
場 所 阿須那公民館

1．町長あいさつ

皆さん、こんばんは。町長の大屋光宏です。こうやって町政座談会を開催しましたところ、本当に寒い中、たくさん集まっただきまして、ありがとうございます。就任して何とか年度中に皆さんの意見を聞く場ということで、町政座談会をしたいと思ひまして、大変申し訳ないんですが、1月15日から2月半ばの一番寒い時期に計画することになりました。できれば、時間は6時半くらいからして早いうちに終わればと思ひていますが、8時と言えば、ひと昔前は、常会とか夏時間と冬時間があって、お寺のお通夜も8時からという時代もあったなと思ひながら。そんなに遅い時間じゃないかなと思ひんですが、そうは言ひながら、こういう寒い時期ですので時間を守りながら、きちんとさせていただければと思ひております。

町長に就任させていただきまして、何が変わったかという、当たり前ですが、毎日役場に行きます。今までの生活と一番の違いは、季節感がないと言ひれないんですが、元々農業なので、この時期にそんなに朝早く起きて仕事をする事もないですし、日が暮ればおしまいなのが、今はやっと朝も少し早くなつたし、夕方6時近くまでは明るくなってきて、春が近いというわけじゃないですが、気持ち的にも意欲が持てるようになりました。仕事に意欲がなかったという意味ではなくて、生活の中のメリハリとして自分のペースがつかめつつあるところです。

もう一つは、一週間が非常に早いです。皆さんにとって、今日はまだ火曜日なのかでしようが、予定をいっぱい入れていただひているので、役場に月曜日に行った時点で金曜日まで予定が全部つまっていますので、こなしていただくということではないんですが、非常に早く土日がかかります。ただ、土曜日か日曜日は休むことができるので、どちらかと言うと、そこで自分のペースが保てるというようなことをしています。

本当に雑談で申し訳ないんですが、皆さんがどこまで興味があるかは別ですが、うちは昔から春にきゅうりをつくっています。種まきをこの時期にしまして、2週間前に種まきをして、この土日で接ぎ木しました。もう息子が跡を継いでいますので、ちょっと手伝うか教えるだけなんですが、仕事も同じで、いろいろな職員の方がしていただひて、その間ずっと一緒にいるわけじゃないので、ちょっと経って結果を見るだけです。種を撒いて、一週間経ってまた行って、発芽しているのを見て、順調にいくかどうかで。ダメでも何とも言ひれないので。ただ、うちにとっても良かったなと思ひるのは、息子が独り立ちした感じで、25歳くらいですけど、きちんと考えてやるんだなと思ひながら見ております。自分の中の趣味というわけじゃないんですが、そういう今までの生活があると、仕事のときのメリハリとか気分転換とか、いろいろなことによつて意欲が湧くかなと思ひてさせていただいております。

町政座談会で主題のところに、一番下にQRコードを付けています。なるべく皆さんに意見や思いを伝えてほしいということで、12月の町の広報に町長室へのFAXや意見箱など、支所にも入れる場所があるんだと思いますが。現実、ほとんど入らないです。FAXも来ないです。今の時代なので、QRコードでメールという方法も使ってみてください。かしくまってそういうことをしなくても、役場で親しい方もおられると思いますし、支所に行って伝えてもらってもいいですし、紙の裏にメモ書きをして渡せば、ちゃんと届きますので、かしくまらなくていいので、いろいろな思いがあればしっかり伝えていただければと思います。

ここ最近、町長の大きな仕事は、今年度事業の仕上げと来年度事業の準備をしています。職員の方にも同じお願いをしていますが、道の駅とか中学校とか、病院の大型事業、あとは霧の湯のこともあります。それら今年度に、やるべきことをやって4月を迎えないといけない。予算も今、しっかり立てないといけない、仕上げと次の準備をしています。

今日も財務課長がおられますが、昼から予算の査定をしました。初めてのことで、ペースが全くわからなくて、どのくらいの時間をかけていいのか、いつまでにどこまでいけばいいのか、わからないんですが、そこを管理してくださいねといいながらやっています。職員の方に申し訳ないところもあるんですが、ちょっとしつこいので、非常に深く聞いたり議論したり、時間をかけるところがあるんですが、皆が納得してそれで始まれば、あとはいっただけ、やるだけなので、ちょっとスタートはしっかり議論してお互いに理解して進めたいということで、時間をかけながらしています。

皆さんにとっても4月に年度が明ければ、新年度予算をしっかりと使えて動かせるように。新年度が始まったけど、ちょっと待ってくださいねということがないようにしたいと思って、今は職員の方も大変ですが、しっかり仕事をしてという話をしています。

今日のお話ですが、2枚目のところに今後取り組んでいくこととして長く書いています。この話に入る前に少し話をさせてください。今日も〇〇さんが伝言で、農業振興をしっかりとってくれと言われましたとあったんですが、最近の悩みです。あちこちで話をすると、誰かが解決してくれるか、良い知恵を出してもらえるか、職員が考えていただけるかなと思って、いつも言うんですが、これだけ米が高くて、野菜が高くて、この夏には道の駅もよくなるというのに、米をたくさんつくろうとか、野菜をつくってみようとか、あそこの土地が荒れているけど、誰の土地だろうか、借りたいんだけどというような、前向きで意欲のある話がほとんど出てこないです。農業をすとか、野菜をつくるとか、米をつくるとか、もしくは山に行って何か採ってきて売るとか。そういう意味ではすごくチャンスなんだけど、その意欲が湧かないということは、皆さんが年を取られてきたのか、若い人も忙しくて、そんな余裕がないのか。何か、ちょっともったいないなと思っています。

そう思うと、行政の仕事として少し良い方法で後押しができれば、米をたくさんつくってみようとか、品種を変えてたくさん採れる品種にしようとか、野菜にしても、今きゅうりの話をしましたが、種からというのはなかなか難しいので、種を配るか、苗を配るかをして強制的にでも少しでもつくってもらって、それを直売所に出してもらおうとか、何かしないと、この良い波に乗れないかなという気はしています。それは何が一番いいのかはありますが、少し後押しができれば

という思いです。

次に財政の話です。厳しいですという話をします。それぞれの地域があるかもしれませんが、町の大型事業が続いています。人口も減るといっていただけの方も多々あるので、あえて今まで丁寧に説明せずに来ました。その数字も出していません。

ただ一方で、財政が大変になると、町民の皆さんの生活はどうなるの？という話になります。大変だと言うんだけど、町が潰れるかということ、潰れるわけじゃないです。職員が減るのかということ、そういうこともなかなかできないです。全国で潰れたり、経営がダメになって新しい町ができましたということはないので、財政の実感がわかりにくい。じゃあどうすれば良くなるのか。今、何がダメなの？というのは、確かにわかりにくいと思います。

役場の中でも行財政改革ということで、副町長を中心にチームをつくって取り組んでいただこうと思います。ただ、職員さんの中でも同じ意見が出ます。そう思うと、町の予算は大きすぎてわかりにくい。ただ単純に、入るお金がわからないので。皆さんの家や自治会は入るお金がわかりやすいです。年々増えればいいですが、減ることもあります。自治会費だと、人が減れば減っていきます。ただ出る方は、人口に合わせてそうそう変わるわけじゃないと思います。電気代とかも高くなっています。

そう思うと、入るより出るが増えるので、単純に大変なんだけど、でもその大変は、国が面倒をみてくれるんじゃないの？という人もいます。地方交付税という仕組みがあるので、町にお金がなくて大変なら、国が出してくれれば良くて、皆さんに迷惑をかけることはないんじゃないかと思われるんですが。そこも計算の決まりがあって、邑南町だったら70億円くらいで運営できるようねという計算をされます。細かいことは別です。財務課長がおられるので、違うよと言われることがたまにあるんですが、うなずいておられますが。70億円くらいだと、皆さんからいただく税金が10億円あれば、国から60億円で、これでやってくださいということなので、それ以上にかかってくれば、当然、町がどこから出すのかということになります。そうは言いながら、中山間とかいろいろあるので、直接支払い制度とか、いろいろな事業に取り組むので、総額で言うと120億円とか130億円の事業費で予算になるんですけど。

ただ、入るのは決まっていますよということです。非常に財政が厳しくなると、水道代が上がるとか、ケーブルテレビのお金をもっといただきますというのだと、わかりやすいのかもしれませんが。何でそうなるのかというのがわかりにくいんだと思います。そこは、町が水道代もかかるお金の全額を皆さんからいただいているんです。かかる経費の半分しかいただいている。半分しかという言い方は、恩着せがましくてすみません。そういう仕組みなので、厳しければ水道代を上げる。その上げる理由が、電気代が上がったから、何かが上がるから上げるならわかりやすいけど、町の財政が厳しいので上げさせてくださいと言われても、よくわからないですよ。

払ったお金はどこに行くの？ということになるんだけど、仕組み上、100%皆さんからいただいているということなんです。それは、今までの経緯でそういう仕組みなんだけど、できればそれが維持できて、皆さんに大きく負担が出ないようにするためにも、今の財政をきちんと、人が減って収入が減る分、経費がかかるものも賄わなければいけないというのが第一で、始まりです。

その中で、道の駅とか中学校とか造っているけど、その借金返済の当てがあるわけじゃないです。言い方はすごく変ですが、車を買いました、ローンを組みました、月々何万円なら、返せるだろうな、この給料ならというくらいの感じです。そこで家を直さないといけないとか、いろいろなことがかかってきたら大変だということ町も同じ状況です。借金によっては、ちゃんと返済の当てがあって借金するもの、中学校とか道の駅を建てるのに、当てがなくて建てたのかという意味ではないですが、一応、30年くらいの中でこれくらいなら返せていけるだろうとは見ていますが、それ以上に今、物価が高騰しているので大変だということです。最初に農業もちょっと後押ししたいと言ったところの、ちょっとのお金がないので、工夫するためにも行財政改革をしっかりと行かないといけないと思っています。

もう一つ、ちょっとだけ思う話です。町内には人が足りないと言われます。福祉法人だとか企業も人がいないです。定住対策で邑南町にもっと企業誘致した方がいいと言われる方もおられます。江津市は工業団地がだんだん埋まってきています。チャンスがないわけじゃないです。ただ、今、うちの町で本当に10人でも20人でも、そういう会社を呼んできて勤めてもらえる人がいるかという話になると、町内での取り合いなので、そこじゃないのかなと思います。

まずは、町内の企業や事業所をしっかり支えないといけないというのが始まりかだと思います。その人を、じゃあ、どうやって確保するのかというと、子育て世代が子育ての負担を少し減らして勤めやすい環境をつくるのは大事かもしれないけど。もう一つは、やはりこの町の出身者をという思いが強いです。UターンやIターンと言う前に、矢上高校に今、羽須美からも通ってきていただいています。県外からも町外からも来ていただいて、町もたくさんお金をかけて、定員を満たす状況です。今まで矢上高校は定員を満たしています、良いですよと言っていました。が、本当に良いのはその卒業生の皆さんが、この邑南町に残っていただく、帰っていただいてこの町を支えていただくことなんだと思います。

今まで、そこに力を入れていなかったもので、少し力を入れて、帰ってきやすい環境か、若しくは、若しくはです。ちょっとだけ思いです。さっきからちょっとだけ思いとか、高々言いにくい話なんですけど、町長の立場で言うと、それが決まりではないんですが、できればいいなと。皆さんの意見を聞いてというところですが、資格とか取るために、大学や専門学校に行かなければ取れないものはあるんだけど、そうじゃない中で、あえて無理してとか、皆が行くからとかで、高校を出てから大学とか専門学校に行く必要が本当にあるのかなという思いをちょっと持っています。

子育て村で子育てがしやすいということで、お子さんが多いお家もあります。2人とか3人、4人が全て大学や専門学校に行くというのは、親としても非常に大変です。皆、心の中では、この町に帰ってきてほしいと思うなら、高校を出てこの町で働いて暮らして、そこできちんとスキルアップできるとか、資格が取れるとか、学びができるというのを応援すれば、この町を出なくてもいいんじゃないかという思いもあります。出ることに力を入れすぎたので、その反省として。それが全てじゃないですが、そういう選択肢があってもいいのかなという思いも持っています。

それが前段で、皆さんの意見をなるべく聞いた方がいいと思うので。今後取り組んでいくというところを見てください。小中学校の統廃合とか、行財政改革と

か読んでもらえば、こういうことがしたいのかと何となく理解していただけたと思います。公共施設の統廃合はしたいんですが、一方で、なくすだけじゃなくて必要なくなった施設を他の使い道があれば。例えば、事業者さんが何かに使うとか、新たな使い道があるとか、そういう可能性はしっかり調査して調べて、使わなくなった施設はなくすのか、違う方法で使うのかというのを事前に考えられればいいなと思っています。

次の矢上高校はと書いているのは、先ほどちょっと話した意味も含めてです。保健医療福祉のところで書いていますが、子育て村ってどういうもの？と、常に言われるので、改めて皆さんで考えればいいと思いますし、福祉施設の在り方もそうです。数字をあまり出してこなかったのが、実態に誤解もある。私もそうでした。邑南町は65歳以上の人が増え続けているかと言うと、実は増えていないです。高齢化率は45%でほぼ一緒です。人口が減ると言うことは、65歳以上の人も、年々少しずつ減っています。ただ、皆さんの健康寿命が長いので、地域で活躍していただける期間は長いです。福祉施設にとっては、利用者さんがたくさん常にいるかと言うと、競合する場面もでてきます。将来にわたって成り立つ仕組みを一緒に考えないといけないですし、最初に言ったとおり、子育て世代が、子育てをしながら、そういう施設の担い手でもあるということはセットで考えないといけないと思っています。

あとは、これは何？というの、また聞いてください。人間ドックとかも書いていますが、町の財政は見直しをしないとイケないですが、邑南町にとって良いことは極力続けたいと思っています。その良いことのひとつが、一人当たりの医療費が低いということです。以外だと思われるかかどうかわからないですが、県内の中ではここ数年、低い方です。それは、病院や施設が近くにあるからなのか、保健師さんの活動によって皆さんが常に検診や健康を意識していただいているのか。その前に100歳大学とかも書きましたけど、老人クラブとかそういうつながりで皆さんが社会的に出る場面や、つながりが多いからなのかというものあります。

一方で、40歳代50歳代の検診の受診率はすごく低いです。併せて、制度の隙間で、20代の自営業の方が検診を受ける機会がありません。神紅やブドウの農業している若い人とか、それぞれの企業や後継者で自営業のところは、なかなかそういうチャンスがないので、そういうところも支えて、良いことに対しては、お金をかけて、その良さを続けていきたいと思っています。

最後にその他で、職員の副業と書いています。町職員の公務員の方は副業をしてはダメだと思っていましたが、制度に則って、ちゃんと許可を受ければ、今はしてもいいです。お金儲けの副業という意味もありますが、地域の中で必要とされる役割をしっかりとってほしい、地域に出てほしい、地域と関わってほしいという思いです。それはそのまま仕事でも、自分の課じゃない人の仕事にも関心を持ってもらえるし、興味を持ってもらえれば、個々のスキルアップにつながるかなと思っています。非常に職員も少なくなる、将来的にはそうなると思いますし、負担も増す中で、地域の中でも人が少なくお互いに助け合っていければという思いです。

もう一つは、こういう住民の会をしっかりと開催させていただければと思います。阿須那に来させていただいて、私自身、皆さんの顔が全て一人一人わかるわけじゃないです。皆さん同士はどうかと思いますし、どこの地区に行っても、最後

に終わった後に、あの人誰？と聞くことがあります。他の地区から来られることもありますし、普段の地域内の行事では見かけない人が出て来ていただけることもあります。町としては、意見を聞かせてほしいということと、これからいろいろな声を聞かせていただく、いろいろなお願いをしないといけないときに、新たな人材発掘を。いつも同じメンバーではいけませんし、昨日の日和の座談会でも、もっと若い人の声を聞かなきゃダメだよと言われたときに、そのきっかけとして、一人でもそういう方がおられれば、あの人に声をかけてみようとか。皆さんに聞いたら、「だれあれは？」と言われたときに、「だれですか？」と聞いたら、「あのときの会議のときに来て、どこどこに座ったでしょう。」「ああ、あの人ね」ということにもなるので、そういう意味でも、こういう会は積極的に開催させていただければと思っています。

ちょっと一方的に長くお話しましたが、この後に教育長がお話をして、あとは皆さんの意見を聞きたいと思います。それで、意見交換会でどこでも思うんですが、最初の一人目が出ると、皆さん質問が続きます。本当に出ないときに、こちらからどう思いますかという問いを用意しておけばいいんですが、今日は何も用意していないので、教育長のお話が終わったら、どなたかが最初に質問をしていただければ助かります。ちょっと長くしゃべりましたが、まず私の話は以上にさせていただいて、代わりたいと思います。

2. 教育長あいさつ

改めまして、こんばんは。本日はよろしくお願いいたします。教育委員会の大橋でございます。まずもって、学校を支えていただいております。また公民館活動にご協力をいただいております。改めましてお礼を申し上げたいと思います。

私からは一点です。お手元にカラー刷りの資料を用意させていただきました。それを開いていただいて、全面印刷してある方を上にしていただきたいと思います。左上に、青く塗った帯の部分にコミュニティスクールと書いています。これは、今、文部科学省が全国に向かって推奨しているものでございます。このことにつきましては、邑南町としては、来年度一年をかけて、制度設計させていただいたものについて、皆さんのご意見をいただきながら、より成熟したものをつくり上げて、令和8年度に実施していきたいというスケジュールで、今考えております。

コミュニティスクールというのは、どういうものかというのを少しお伝えさせていただきたいと思っております。左ページの中ほどに、コミュニティスクールとはと、四角で囲ったところがございます。学校運営協議会を導入した学校をいいますと表記しています。この学校運営協議会とは、一体何かというところですが、邑南町につきましては、学校と地域との関係性は他の市町と比べてはいけないんですが、私としては非常に良好な関係にあるのではないかと考えております。学校の思いや教育課程を地域の皆さんがしっかりと受け止めて、それを形にさせていただいております。そのことで、教育の効果が非常に上がっていくと。それが、子どもに還っていくという構図で現在も進めております。

そこに協議会ということで、何が違うのかと言ったら、今度は右ページの四角囲いで3つありますが、一番は、最初の四角囲みのところです。この協議会の大きなポイントは、学校の運営方針、校長先生の経営方針を、地域の皆さんが承認していくという新たな作業が出て参ります。これが協議会の一番のポイントになるかと

思います。先ほど言いましたように、今までは学校の思いを地域が受け止めてというように一方通行ではないですが、そういった矢印から、今度は承認をする作業が入りますので、地域と学校が対等な立場でそれぞれの思いを、ぶつけながら、子どもたちを育てていくという姿が生まれてくるのではないかと考えております。協議会としては、これが一番大きな役目になるのではないかと考えております。

右ページの一番下でございます。邑南町としてというところです。以前、地域学校でもご協力いただきました。また、300人委員会、1000人委員会と、少し期間が空きましたが、地域の思いを共有したものをつくらせていただきました。それをもって、学校と対等な立場でそれぞれが役割を分担して、いろいろな活動に取り組んでいっていただければと考えております。

裏面もご覧いただければと思います。左にそれぞれのメリットを示しました。上の四角囲みにつきましては、学校を始点に置いたときに、学校としては、こういった協議会をとおして、地域と共にある学校づくり、つまり今までは学校完結型の教育を展開して参りました。それを地域と共に開かれた教育課程とも言いますが、そういった体制を明確にしていくということ。その下の四角囲みですが、これは地域の方から見たときに、こういうメリットがあるだろうということを示しております。今度は学校を核とした地域づくりというようなところ。そういった双方にとってメリットがあるというのが、このコミュニティスクールです。今までのいろいろな協力体制を明確にした仕組みをコミュニティスクールとご理解いただければと考えております。

最後に邑南町としては、本来、全国的に見たときに各小中学校それぞれにこのコミュニティスクールをつくるという動きもございますけれども、邑南町の場合は、小学校中学校の義務教育の9年間を意識したいと。9年後にどんな子どもを目指していくのかというところで、この協議会はまず中学校区でつくっていきたい。9年後のイメージをしていただいて、小学校では、中学校ではというような仕組みを令和8年度に、しっかりとしたものをつくり上げていきたと考えております。1年かけて積み上げて参りますので、その際はいろいろまたご意見をいただきながら良いものをと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

3. 意見交換

大賀総務課長 ありがとうございます。それでは、意見交換を進めて参ります。本日、ご出席の皆さんからご意見ご質問をいただきたいと思っております。手を挙げていただきますと、マイクをお持ちしますので、しばらくお待ちいただいて、ご意見ご質問をいただきたいと思っております。一回のご発言において一つずつ、ご意見ご質問をお願いしたいと思います。お一人一回だけという意味ではございませんので、誤解のないようお願いいたします。それでは、どなたからでも構いませんので、よろしく願いいたします。

町長と副町長に事前に少しふれている課題なんですが、阿須那地域でこの前に寄りをしたときに、令和6年の人口が577人で、10年経ったら396人で。今の577人で集落が35ありますので、18人くらいになります。そうすると、10年経ったら、11人平均になるんです。さらに10年経つと275人です。人数が8人くらいになるんです。しまいには、30年経ったら184人で、集落に3人から5人くらいしか、おらんようになる。

一つは、人口論を国もやりよるけど、人口論ではやれんのじゃないかというよ
うな気がして、私もよう整理せんのだけど、幸せ度みたいなものを考えていく時
期に入ったのかなということの一つ思っています。

実は、去年の5月頃に、地域みらい課から来んさって、地域コミュニティの報
告書ができましたと、それに付随して地域運営組織の話をしんさって、いよいよ
阿須那でもそれを考えちゃんさらんかなと、来んさったんです。9月頃にその話
を地域の中で始めて、そうは言っても銭がいるからと相談しよったら、補助金
があるから使ってみんさいと。10月に補助金申請をして50万円を3カ年使っ
てやりんさいということで、もらうことになったんです。実際、11月の末から
12月にかけて、また今年になって地域運営組織の準備とか会議とかを、いよいよ
始めたんです。始めたんですが、本当に地域運営組織は、組織が合体するよ
うな話ですから、いるのかな？と思いながら手探りでやりよります。

その中で、二つほど研究、勉強をしていただきたいんですが。地域コミュニ
ティの運営組織のペーパーの中に、9ページに絵柄が描いてあって、ここは文化プ
ラザと昔は言いよったんですが、今は公民館ですね。このコミュニティの提言は、
組織ができれば、そこへいろいろなものを委託しましょうと。その代わり生涯学
習だけは担保して、教育委員会と連携してやっちゃんさいというようなことが書
いてあるんです。それが一つ気にかかってあって。実際にはそうでなくて。

この間、安来市の比田地区からここへ来ちゃんさって、地域づくりの天皇賞を
もらったと言いよりんさったんです。あそこは、条例を見ると、公民館条例と交
流センター条例があって、上から見ると二つの条例があって、首長部局と教育委
員会部局と。だけど施設を見ると、一つのところなんです。フロアにこちらから
見れば公民館職員としての仕事、こちらから見れば地域振興の仕事をしとる組織
なんです。それで、スタイルはこの邑南町とほぼ一緒なんです。館長があって、
職員が邑南町は正職員でしょう。あそこは、非常勤の任用付き職員のお二人。そ
れで、館数は24館ありますから。邑南町は事務方が、図書やらをしながら任期
付き職員さんがやっておられますよね。うちの公民館の主事さんにしても職員さ
んもすごく有能なんです。有能なんです、縁から見れば貸館業務が強いという
か、仕掛ける側が少ないです。

そういう意味で、交流センター条例が安来市にありますし、雲南にも別の組織
があります。そういうものをちょっと研究しちゃんさらんかなというのが一つで
す。すぐにできる、できないは別にして、それをやらんと、せつかく地域運営組
織ができて、そこを拠りどころにする拠点がないんですよね。それを私みたい
な、年を取りよるものが、事務をしよってもまげにいかんのですよ。だから、そ
ういう意味で、その辺りをちょっと研究してもらえればということと。

もう一つは、その中でさらに13ページのところを見ると、地域づくり支援町
内連絡会議の定期開催というのがあって、要するに地域包括ケアシステムとか、
中山間地域のこととか、生涯学習とか、地域に関連する団体の部局がありますよ
ね、自主防災も。その連絡会をやりましょうと書いてあって、それらがどういき
よるのか、よくわからんのですが。前から、これがないから、串刺しになっとな
らから、何とか考えてちゃんさいと言いよったんだけど、いよいよ計画書に上が
ったんです。計画書に上がったんだけど、実際にそれが動きよるんかなと思って
ね。その辺りをうまく起動させるように、再度、町内で音頭をとるのは、以前は
前の日高副長がやりよったんです。今度は白須副町長あたりを頭に、それ

をまげにやっちゃんさいというのが一つです。二つとも答弁はいらんです。

もう一つは、えーひだカンパニーといのがあるんです。比田地区に。ここは法人なんです。そこに79名の会社員さんがあって、会社員さんの中の9人が市役所の職員なんです。あんまり不思議なんで、電話して聞いてみたら、さっき町長が言いんさった副業の申請をしているんです。会社員の副業で、大したもんだなと思って、事務を切り盛りしよるかと思って聞いたら、あがあじゃなしに、土日身柄が空くから。うちでは、地域応援隊があるんです。応援隊なんかで、委託を受けて草刈りなんかを頼まれますよね。弁償をもらうんですよね。そのための申請をしてやっておられる。

それで、邑南町の今の副業は、たまたま自治会長になったから、申請しておくみたいなパワーのない申請なんです。そうではなくて、町長が言いんさった一歩踏み出した、地域とどう関わるかというような副業の在り方について、全国でどのくらいやりよるかというのを、ちょっと勉強してほしいんです。国の規定では、一日が3時間で、週は8時間だったかな。月で30日を超えてはならないという規定があって。そうであれば公務の邪魔にならないですから。そういうところはやっていますので、ぜひ、今の2点ほど、再度、庁内に持って帰ってもらって、研究してもらえればと思います。うちも地域運営組織を動かそうとするのにつけて、田村課長のところと連絡しながらやらなきゃいけないもので、ぜひお願いしたいと思います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。大きなお話だけお返しします。今、公民館のエリアと、自治会というか地域運営組織と一緒にしたところは、同じような公民館とコミュニティセンターと、地域運営組織と何が違うのかという。ちょっとすみません、私自身もその線引きは何かあるの？と思ったんですけど。生涯学習とか、教育委員会の法律に基づくか、そうじゃないかということで、それは、内部の話で、皆さんにとってはそこに線があるが見えないので。同じ職員で、どこでこうやるのかというのは、課題としてあるので、十分承知しながら、一度整理させてください。横のつながりの連絡会も必要なことだと思いますので。

そういう中で、今、12月議会の一般質問をされておりますが、常に出ているのは、町長部局と教育委員会との連携はどうなのかということなので、来年は、町長部局と教育委員会との連絡の担当、教育委員会の方の町長部局との担当をつくれればと思っています。町長は一人なんですけど、よく教育委員会の方で町長の仕事ですと、どの町長の仕事ですか？というのが今の状態なので、少し整理させていただくと、そういう問題解決とか、連携もいいかなと思っています。

副業も今、全国的に新聞とかでそういう主張をする自治体が増えてきています。隠岐の島の海士町はちょっと仕組みが違うんだと思いますが、最初から副業するために職員が雇われて、町の勤務時間は例えば半分で、残りの半分は地域の仕事をしてくださいみたいな最初からそういう形もあるんだと思うんですが。年々、地域内のどこの課題も人手不足なので、その解決のために、一番身近な公務員がそこに入って行く。ということは、いいことだと思います。

職員さんもおられて、いろいろ踏み込みにくいんだけど、人生が長くなってきて最初に言ったとおり、できれば学校を出たあとに早く帰ってきてほしい。65歳の定年まで勤めるのは非常に長いので、その中である程度、仕事をしながら、役場の仕事をして、自分でこの地域でこの仕事をとって独立すると、皆のためになるよねとか。こういうことをして自分は、老後とは言わないけど、人生の後半

を過ごしてみたいなという思いを持ってもらって、役場の方がどんどん独立して地域でというのが一番いいと思いますが、理想です。人生が長い中でそういう考え方も一つの在り方かなと思います。

それで幸せの話があって、今ちょうど邑南町の一番大事な総合振興計画をつくっています。今年度、準備をして来年度につくって、再来年くらいから10年間だと思うんですが。新しい考えで、今言われた、皆さんの満足度や幸せ度が測ればいいなと思っています。どうやってやるかは、ちょっと課題なんですけど、今ちょっと提案を受けているのは、町はこういうことに力を入れました。例えば、子育て支援のためにこういうことをしました。皆さんの生活を維持するためにお店の応援をしました。高齢者の生きがいの活動で、こういうことをしました。町は満点でやったつもりです。それに対して皆さんの満足度はどうですかと聞いて、そう思うとか、そうじゃないとかいろいろと出るんだと思います。そういう形でもいいかなと思っています。それは大変な事務なので、5年に一回は大きなアンケートをする。間は簡単な形で、今日みたいなQRコードを皆さんに配って、参加してくださいということで、スマホを使うくらいのことでできればいいかなと思っています。

若い人やいろいろな人に関わってほしいのは、毎年やってアンケートに答えていただいたら、それが町政に反映されて翌年の予算で変わってきたよねと。特に若い人が関わったら町が変わってきたよねと。じゃあ、もっと関わるのもっと良くなるかもしれないというような仕組みができれば、もっと若い人にも参加してもらえるかなと。

今、農林業センサスで、皆さんの手元に行っていると思います。もうほぼ終わったと思うんですが、あれはすごく面倒くさくて。普通に答えてそれでおしまいなんですけど、何をつくっています、これをつくっていますと一生懸命書くと、翌年から、例えばキャベツと書くと、今年の実績はどうでしたか、収量はいくらでしたかと追加の調査が来て、嫌だなと思っています。嫌だなと思うのは、それをやったら何かが変わって施策が変わってというならいいんだけど、中山間というのはわかりにくくて、ここまで苦労してアンケートに答えてもと、いつも思うので。皆さんに何かをお願いしたときに反応がよくわかれば一番いいかなと思います。すみません、ちょっと長く答えましたが、またお願いできればと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方、いかがでしょうか。はい。

大屋町長さん、大変ご苦労さんでございますが、一つしっかりと若い力で頑張っていて、町政を発展させていただきたいということ、まずもってお願いしたいと思います。

財政が厳しいということは、常々言われておりますけれども、もう何年か前にここで町政座談会があったときに、今年から大型投資を3つやるんだというお話が町長からございまして、私もそのときにいっぺんにこういうことをしても大丈夫かということを質問したんです。過疎債で7割出ると、あと3割だけ負担すれば大丈夫だから、十分できるというような財政の話が執行部からの話でした。それによって、これまでのサービスの問題とか、或いは、地域によって改善しなければいけないようなことを持ち越しにするようなことがあっては困るということ、申し上げたんですが、そういうことはないというようなことでございました。そのような状況の中で、3大事業が興されたというようなことでございます。

現実には、これから確かに厳しくなるというのは、我々も十分わかっておりますけれども、これによって住民サービスが低下するようなこと、先ほど町長さんの取り組みについてお話がございましたが、結局、財政再建には、いろいろなものを統合するとか、縮小するとかというような項目が出ております。これは、十分に地域を考慮して。これまで特にこの地域は、学校の問題については大変歴史的なものもございますので、昭和35年の議会の議決があるわけです。そういうふうなことの項目も十分、熟読していただいて、慎重な検討をしていただきたいと思います。思うことが、まず一つ。

もう一点、大変すみませんが、簡潔にお答えいただいて結構ですが、大型事業で邑智病院もほぼ完成で、中学校もそうですが、今、道の駅が大々的に想像を絶するような広大な敷地の中で建設されております。建設は町の方で実施されるんですが、今後の運営について、固定費といいますが、電気料とか今後起きるだろう修繕とか、どういう形態で運営されるのか、その辺が心配ですので、お聞かせ願えればと思っております。

やはり、霧の湯とかいこいの村の運営も、右左といろいろございまして、問題も提起されたという経緯もございますので、十分にそこも理解できる説明をできればよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。先ほど、借金の返すあてもなくとは言いましたが、ちゃんと交付税措置があって負担も少なく、やり繰りをしてサービスを続けることができますということできました。

ただ現実には、少しいろいろな事業をするのに時間がかかりすぎた。そこに人とお金をかけてきたので、若干、職員の中でも仕事量や人の配置とかの課題が出てきて、一般のサービスが難しくなっている。

今、一番大きいのは物価高騰です。その当時なかったことといえば、今、同じ工事をしようと思っても、2割、3割高くなっています。そのあたりのことをどうするかという中で、当然、住民サービスは低下させないように、そのために行財政改革をしなければいけないと思います。ただ、町内の全ての施設は修繕が行き届いて、きちんとしておれば、統廃合とかそう考えなくてもいいんですが、やはり修繕と人口減を合わせれば、今は少しサービスを維持しながら。この町から何もかもなくなるんじゃないかと、今までよりも若干遠くに行かなくても、この町にサービスが残るよう。

学校について具体的に言うと、数あわせでの統廃合はしませんと言っています。今日、数字は出していませんが、今、邑南町全体で小学生が一学年70人くらいです。保育所になると、全体で300人なので、一学年50人くらいです。今、毎年生まれるお子さんは、35人から40人くらいです。という話をしてしまうと、邑南町の中で、小学校が2つくらい、中学校は1校でいいよねとなってしまうので、そこは数字として定住対策とか、UターンとかIターンを増やして努力していきたいので。今ならそれぞれの地域でどういう教育ができればいいのかということで、学校を全て残す約束はできないけれども、全くそれぞれの地域でゼロにしなくてもいい可能性があるんじゃないかと思っております。

お話ししていただいたとおり、それぞれの地域の歴史があるので、それを踏まえながら、今、具体的には来年度、教育委員会には、教育としてどういう学びをするために、どういう学校がいいのかという話を。地域みらい課では、今、〇〇さんが言っておられたコミュニティとか地域の話をする課には、過去の歴史もあり

ますし、それぞれ地域の思いもあるので、学校の配置はどうすればいいのか、全く違う始点で考えてくださいと言っています。皆さんの思い全ては叶わないけれど、思いに近い形でできればいいかなと思っています。

道の駅の運営の話ですが、今まではどんぶり勘定という言い方は変ですね。受けていただいたところに施設を全部、売り上げとか収益でみてもらっていました。ただ、あそこは観光の案内所とか、皆さんが普通に使える公衆トイレがあります。それは行政側が負担すべきところなので、そういった掛かる経費はしっかり払いながら、その他の施設については、直売所、産直市として運営してもらえようように。経費も分けながら、分かりやすい中で、責任を明確化して進めたい。

それで一番の不安は、ものが集まるかどうかかなだと思います。人が減ってきて、面積が広がってということはあると思いますが。面積が広がったのは、通路を広くしましょうとか、棚が2段、3段なのを平棚にということなので。

ここから先も、本音だ建前だといつも言っていますが、建前上は、ものがたくさんあるから道の駅を広くして大きくしたけど、ものが無いけれどどうするかと言われても困っちゃうので。まずは、生産で応援しながら、ものがつくれて出るようにしていきたいと思います。

霧の湯の運営についても指定管理料を払うものはしっかり払って、努力すべきところはしてもらいたい。一方で、その他で少し書きましたが、自治体連携ということで、いろいろなことで浜田市、江津市に似た施設があります。温泉、観光地もあります。うちの町だけで人を呼ぶんじゃなくて、2つの市も含めて協力しながら人を呼んだり、浜田市に来られたお客さんを少しでもという思いもあります。そういうことでしっかりサポートしたいですし、三江線の関係についても、今、それぞれのグループで一生懸命頑張っておられます。それを沿線の自治体で連携して応援できれば、お客さんを呼ぶにしても相乗効果で良くなるんじゃないかと思っています。

私自身が、それぞれの自治体のトップの方と面識があるわけじゃないので、しっかりお願いしに行き、思いを伝えて協力してもらえればと。今までの付き合いが少ない分だけ受け入れてもらえるかなと、勝手な思いもしています。飛び込めばいいのかなと思うので、そういうこともしながら、しっかりこの町の観光や事業を支えていければと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 はい、どうぞ。

冬の停電対策について、お願いと私の意見を申し述べたいと思います。先般の雪で宇都井地区が停電したんですが、県道しか町道しか、車や歩いていますと、電信柱にカズラは巻き付いているし、上の方にはスギや雑木が垂れ下がっている。いつ停電が起きてもおかしくない状況なんです。この寒いときに停電なんて、特に高齢の方は大変だと思うんです。ですから、町で音頭をとっていただいて、ちょっと雪が降ったから停電したというようなことのないようにしていきたい。

と言いますのも、3年くらい前に所有地で電線に木が倒れそうなところがあって、中電に話をしたんです。そうしたらすぐに来て、木を切って処理をしてくれました。そのときに中電の方がおっしゃるには、やってくれと言われるなら、いくらでもやらせていただきますと。今は結構、町内に住んでいる人が少なく所有者がわからない。今は民法が改正になって、3年以内に相続しないと国庫に帰属するような強い法律改正になっていますが、誰が持ち主はわからない。例え

切ったら、これはいくらだったとか何とか、えらい目をつけられて。そういう作業がなかなかできないんだということを中電の方がおっしゃっていましたので、ぜひ町で音頭をとって、森林組合、中電とよく協議されて、町民が困らないように、雪による停電対策をされるとありがたいと思います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。冒頭に言わないといけなかったです。今日、お昼にケーブルテレビが止まりました。大変すみません。というように、どれも大変大事です。それは線が切れたわけじゃなくて、原因は違うんですけど、雪が降るたびに停電するのは困ると思います。町長にならせていただいて、中国電力の方もあいさつに来られてそういう話もしました。何かあってからでは大変なので、議会でも常に一般質問でそういう話が出ます。もう一度、役場の中でも整理させていただいて。

除雪もそうなんです、今のところ、雪とかで倒木があったら切ってくださいという仕事はあるんです。事前に危ないと思えば切れれば良いと思うんですが、その対応だと思うので、少し整理させていただいて。倒れれば切りやすいけれど、倒れてないのに切ると文句を言われるということだと思うんです。それはまた地域の人とも相談しながら、思いが叶うように。私たちもそう思うので、何かあって後でかかるよりは、最初に天気の良いときに切った方が楽なので。思いはよくわかりますので、また建設課なり、役場の中で、中電さんも含めて、話をさせてください。ありがとうございました。

もう一点よろしいですか。先ほど、道の駅の話も出ましたので、関連してお願いしたいと思います。阿須那地区を見渡しても田んぼの圃場整備はほとんどできているんです。私は今、西集落ですが、田んぼの圃場整備は完璧にできています。私の家の近辺は、昔、蚕を飼っていたものですから、畑が結構あるんです。私の所有の畑でも10枚くらいあるんです。畑の圃場整備は全くなされていないんです。だから、機械で畑の作業をするのも大変ですし、うちの集落に斉藤哲夫さんがいますので、国土交通大臣をやっていたんだけど、畑の圃場整備を少し国庫の補助でやってくれよという話をしたんですけどね。今は辞めて、公明党の幹事長をやっていますけど。

そういうことで、畑の圃場整備をちょっと県や国と掛け合っただけで音頭をとっていただければ、ある程度の自己負担はします。そうすれば、道の駅にも野菜をね。私は去年までは広島市場に直接里芋とヤーコンとかつくって持って行っていたんです。道の駅も充実すれば、野菜の出荷もできるんじゃないかと思うんですけど。

その圃場整備と併せて、野猿対策を徹底してやってもらいたい。2、3日前にも雪が溶けて、普段はビニールハウスにネットを張ってサルが来ないようにしているんです。ネットを張っておくと、雪が降ってビニールハウスが倒れるので、ネットを外したら早速サルがきて、にんじん全部を引っこ抜いて、だいこんも引っこ抜いてかじって。そこらあたりにバラバラと撒いていて。道の駅に野菜を出荷しろ、農業振興をしろということであれば、いの一番に野猿対策をやっていただかないと、どうにもならん。

それを野菜だけじゃなくて、そのうち通学する小学校の児童に手を出すようなことになっては、取り返しのつかないことになるんじゃないかと。町長の責任にもなるんじゃないかと、こう思いますよ。大けがでもしたとなったら、大変なことになるんじゃないかと。テレビでも大騒ぎしていますけど、岩国だとか、どこ

どこでサルに襲われたとか言っていますが。ぜひ、農業振興に併せて野猿対策をやって、地域住民の安全を守っていただきたいと思います。

大屋町長 ありがとうございます。本当に申し訳ないです。地域的に桑ノ木があって畑があってという中で、邑南町の中で畑に対する振興がすごく弱くて、農地水とかも、畑も対象になるけど、入れているかということ、ほとんど水田だけできているんだと思います。

○ うちに入れていますよ。

大屋町長 入れていますか？

○ それと、さっき養蚕の話が出ましたけど、私が10数枚畑を持っていると言いましたけど、そのうち2、3枚は桑畑だったせいかもしれませんが、現状は畑で私も里芋をつくったり、ヤーコンをつくったりしてきているんですけど、資産台帳を見ますと、種目は山林になっているんです。畑なのになど。桑畑だったから山林でも通用したのかなど思っているんですけど、そこは私は調べていませんが。

大屋町長 ありがとうございます。どちらにしても、今ちょっと課題なのは、土地に価値があると思われる方がほぼいないので、土地を借りてもお金をつけてほしいという時代で、自己負担してもいいのと言われると少し考えやすくして。今後、県ともそういう会議があるし、この前、農地については建設課長と少し話をしたんですが、土地改良について少し勉強させていただいて、必要なら県や国に要望する機会があるので、対応させてください。

サルに関しては、どこへ行っても地域性があって、井原でも同じ話をいただきました。つくったものへの被害もあるし、逆に言うと、羽須美の方は以前からずっとサルが出て、すごくノウハウがあってという思いもあるんですが、それを超えてきているということで、町も産業支援課に担当がおられて、以前に比べたら、毎月、新聞を配られたりアンケートがあると思います。その方たちにも相談しながら、今までやってきたことと、今の現状と何を足せばいいかを少し勉強させてください。ありがとうございます。

それで、その辺の農地の圃場整備がちゃんとできないと、サル対策もできないということであれば、この前も業者に相談したんですが、太陽光をやろうかなと。ただ、トランプが掘って掘って掘りまくれなんて言っていますからね、地球環境対策なんて関係ないと言っていますからね。そういうことで、電気代が低くなれば。太陽光をやってもある程度の年度で交換すると、コストがかかりますから、ばかばかしいなとも思っているんです。ぜひ、サル対策、農地の圃場整備をよろしくお願いします。

大屋町長 はい、ありがとうございます。

大賀総務課長 はい、ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

町長さんの最初のあいさつにあった財政が厳しいところで、町民の皆さんにとってはわかりにくいということで、自分もちょっとわかりにくい点について質問させてください。

消防団の人数が、今減ってきているところで、年俸も上がってきているというところですが、積載車の管理で阿須那の分団で管理している積載車が、修理しないといけないということで、エアコンの修繕があるんです。町の財政が厳しく、予算がないのでというのが説明の主な内容で、積載車のエアコンの修理ができないとありました。町長さんが言われたように、財政が厳しいからエアコン修理ができないというのは、今の3大事業との結びつきじゃなく、なかなか説明がわか

りにくいというのと。ひどい説明になると、他の分団はエアコンがついていないから我慢しなさいというような。夏に農業されている町長さんなら、夏の炎天下の中、消防の積載車に乗ってあるくと、エアコンがない車で走ろうとすると、夏の暑さを思い出していただくと、エアコンのない車に乗って活動するということは大変厳しいということです。

自分なりに財政ということで、消防団で幽霊団員さんがおられて、年俸2万円とか、全然活動していない幽霊団員さんがおられるんです。町として条例の見直し等をされて、ただでさえ団員の確保は町として大変だと思いますが、年間に全く活動されていない方には、財政で積載車の修理とか他の支出が必要だから、年俸の支払いは、今年度活動していないのだから、我慢してくださいというような、何か施策をとってエアコンの修繕とかをしていただければと。財政が厳しいんだということでは、なかなか説明の理解が難しいというところがありましたので質問しました。回答をとということはないんですが、ちょっとそういう意見があったということでお願します。

大屋町長 ありがとうございます。個別に聞くと何とかと思うんですが、ちょっとごめんなさい。たぶん新年度予算ができて、あらゆるところで予算が少なくなっていると思います。本当はそれに理由をつけないといけないんだけど、現場では財政が厳しいからじゃない？ということになるんだと思います。今そこは、横並びで持ったときに、まだエアコンもついていない車もあるので、ちょっとこちらは我慢してもらって、みんなエアコンが付けられる段階になったら直しますよという話だと思うんだけど。そこが全部飛んでいっちゃうので。

今、査定している中で、先ほども子どもの安全があったとおり、学校の統廃合をしようと思っても、先々無駄になるであっても、今の子どもたちの教育環境のためのものは維持しましょうと。例えばですが、ここはLEDか蛍光灯かわからないですが、LEDに変えますというのは、照明上、差し障りなければ延ばせるなら、延ばしてほしいとか。工夫しながらと思っています。

説明が足りなくて、非常に申し訳ないです。うちの町で、もう一つ難しいのが、おっしゃるとおり、団員さんであまり出て来られない方は辞めていただいて浮いたお金となるんですが、浮くかと言ったら、たぶん交付税の計算でくるので、浮くわけじゃないという、そこは努力がそのまま結びつかないというわかりにくさもあります。全てじゃないんですが、そういうところもあって。

思いはよくわかります。すみません。改めて説明の仕方として、財政は厳しいけど、やりくりの中で、皆さんにもちょっと我慢してほしいですとか。こういう経緯の中で今年はちょっとできませんとか。消防団の方もあちこちで不足していて、将来は大丈夫かと言われていています。そういう意味では環境を整えていかなきゃいけないので、エアコンが壊れたままでいいのかというと、それだと、入り手がないよと言われちゃうので、そのタイミングとか工夫とかで。

決して財政が厳しいから全部止めますということではないので、先ほど言ったとおり、サービスを維持する中で、どのレベルでできるかということなので、丁寧に説明させていただきますので、ご理解いただければと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方、いかがでしょうか。

すみません、〇〇です。消防団の絡みでちょっと。まずは、出初め式をなぜしなきゃいけないのかというところなんです。この前も出たんですが、外での実演がで

きない。体育館の中で話を聞くだけ。だったら別にいいんじゃないかと思うんじゃないですか。

それで、もしやらなきゃいけないかったら、春の火災予防運動が3月頃ですよ。その温かい時期にやればもっと集まったり、ギャラリーも多かたりするのかなと思ったり。それで偉い人も都合をつけやすいんじゃないかと思うんです。1月の頭に持ってくるから、今年は知事がおられました。皆さん代理で来られたり。たぶん答えは出ないと思うんですけど、一消防団の思いです。伝統的な出初め式かもしれないけど、伝統を崩すのもこれからの町に必要なのかなと思って言ってみました。

大屋町長 今年、役場で年末の仕事納めと年始の仕事始めをやめさせていただいて、仕事始めはちょっとずらしました。単純に、年末にあいさつをして、休みが明けてすぐにあいさつをするんだらうというくらいの気分でしたが、長く休みが取れていいとか、9連休した上にまだ休むのかなと思ったり。すみません、そういうことを表立って言うてはいけないんですけど、いろいろ話を聞いたら、学校がまだ始まっていないので、親としたら預ける場所がないので、仕事始めがなくて良かったです。あ、いろいろなことがあるんだと思いました。

出初め式もおっしゃるとおり、どういう意味があつてどうなのかと。統率という意味では必要だけど、本当にそのときでいいのかと。元々、5日か6日にやっていたのをずらした経緯もあるので、またそういうところも工夫させてください。出初め式が負担で消防に入りたくないと言われたり、その日に飲み会があつて若い者は出てこないと言われるのも嫌なので、その辺も工夫できればさせていただきます。絶対の約束ではないですが、はい、ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

私は今、産直で勤めさせていただいております〇〇と申します。冒頭に町長から、そういった農産物が集まるかどうか不安だというお話がありましたが、私自身としましては、やはり売れさえすれば、つくる人は増えていきます。儲かるものはどんどん搬入していくということで、その辺の心配はしておりません。昨年は産直市も市場価格の高騰とか、令和の米騒動があつたということもありまして、売り上げも過去最高だつたといった中で、今、運営させていただいております。

私が一番不安視しておるのは、どうやって邑南町に消費者を呼び込むかということです。今、ガソリンも高騰している中で、わざわざ野菜を当地区まで買いに来られるのは採算も合わないし、どうやってこの邑南町の魅力を発信していくかということで、町長が今後の邑南町の魅力をどういうふうに発信しようかと思っておられるかということがもしありましたら、教えていただければと思います。

大屋町長 ありがとうございます。〇〇さんがおられるので、適当なことを言っちゃいかんと思ひながら、すみません。集まらないとか、そういうわけじゃないという中で、生産量がというところですよ。おっしゃるとおり野菜の値段が高くて、広島のお店で買うよりはお得なら来るんですよ。そうじゃなくなったときにどうなのかということもあるし、広島の方に聞いても、やっぱり道の駅みずほは、ものがよくて安い。安くないといけませんかと聞いても、ちょっとでもと。やっぱり比較対象なんだと思います。そこで絶対的に来てもらえるかという中で、つながりというのはやはり大事かなと思います。先ほど言ったとおり今、邑南町

は広島広域都市圏ということで、広島市と一緒にやっている。一方で、吸い取られる気分が少しあって、来てもらうという意味では、江津、浜田と協力してきてもらうということをしていないといけないと思っています。魅力があると言われましたが、人のつながりはやはり大事なんだと思います。ここの出身であるとか、関係があるとか。そういう意味では、ふるさと納税も含めてもう少し。

ここにはあまり書いていなかかもしれませんが、対象を遠方ではなくて広島であるとか、松江、出雲、そういうところからきちんと呼び込むことによって、邑南町に来ていただくというのが始まりかなと思っています。農産物の魅力もあるかもしれませんが、地域の魅力としてアピールする先が広島であるとか、山陰道がつながるので松江出雲、香木の森も含めて。

もう一つは、町内の呼び込むため、来た人に町内で周遊してもらうための観光計画のビジョンも策定ということでやっていきたいと思っています。当然、その中心は、道の駅おおなんの中でと思っていますので、またご協力いただければと思います。ありがとうございます。

ちょうど明日にグランドオープンに向けた栽培講習ということで、今現在76名の方に参加申し込みいただいております。種苗から始まって研修をびっしりやりますので、ものは安心していただければと思います。

大屋町長 はい、ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方、いかがでしょうか。

町長は、去年の3月に議員さんのときに石橋町長と財務課長を相手に経常収支比率の99.9%の議論をやっておられて、あの件が面白かったのは、100万で何かいい政策しようと思ったら、100万円をどこかから削らないとできんでしょうかと。いわゆる経常収支比率が99.9じゃあ、何もできんという話をされましたよね。

さっき、副町長を中心に財政の見直しを今からやっていくと。中期財政計画が令和4年から10年のスパンで、去年の3月だったかな、提出されておるんです。その見直しをするということは、前倒しで見直しをするということだと思っんです。経常収支比率を見るとずっと横ばいで、99.9と書いてあります。たまたま今年が、93.6だったんですよ。令和5年度実績が。それで、不思議なのが総予算がだんだん計画では少なくなるんだけど、人件費は令和中に上がっているんよね。そういうこともひっくるめて、本気で見直さないといけんというのが一つと。

もう一つは、事業仕分けみたいなものがあると思うんですよ。例で言いますと、前に石橋町長に電話したら、ごつう激怒されたんですが、非常勤特別職の顧問制度というのがありますよね。それで、4人おりんさる。一人だいたい60万円でやりよる。それで×4ですから、240万円。その成果がどうかというのを整理してほしいんです。頭ごなしに240万円がもったいないとは言いませんが、その4名の顧問の先生がどこまで邑南町に貢献しとりんさるかというのも事業仕分けの一つだと思うんです。

というのも、240万円をかけて職員を鍛えると、職員が勉強をして力をつけると邑南町の蓄積になるんです。研修制度を見ますと、職員の研修の報告を広報でやっておられるんですが、国とか県とか自治研の研修は置いといてその他の研修というのがあるんです。あれに700数名が参加している。だけど職員212人で割り崩すと、3.5回しか行っとらんです。その240万円を使って、他流

試合というか。さっきの地域運営組織でもいいですし、産直市でもいいですから、どこかモデル的なところに一週間くらい行って、いろいろな勉強をしてきて、帰って報告するとか。その240万円の使い方はそういうところで使って、職員ストックしていくような方法もあるんだと思います。

これは一例ですけど、部門別の事業仕分けみたいなものが一つあるんじゃないかと思います。総務課長が総務課長の事業を評価すれば全部丸にしんさると思うんですよ。だから、総務課長の事業仕分けは、例えば地域みらい課の課長が評価するというような仕組みを中につくるとか。せっかく副町長が今から音頭をとってやられるし、選挙公約で財政再建がまずないと何もできんと言うとりんさるんだから、そこら辺をずっと意識的に動きよるようなシステムをつくらないと。いつまでにつくって5カ年計画でやりましょうというような流れでは、邑南町は持たないと思いますので。これは何の答えもありませんので、ぜひ家で研究しちゃんさいませ。よろしくお願いします。

大屋町長 では簡単に。役場で今、査定中です。見ながら正直な感想です。なかなかその課や担当者でこの事業を止めてもいいよねというのは難しいなと。さっきあったように、逆に直してほしいというのは言いやすいけどと思いました。今、私が査定中なので、私の段階でやってみて、これはちょっと難しいなと思えば第三者を入れるということも必要だと思いますが、まず今年は自分自身でちゃんとやれればと思っています。

顧問の話についても、議員の時代から経緯を知っていて、元々、町がいろいろなことをする、職員がいろいろなことをするとき、専門の顧問さんがおられて、外に頼まなくて一緒にやることによって計画がつかれる。ノウハウが残るとというのが始まりで、研修の一環だったかもしれないです。ただ現実にはわかりにくさがあるので、これは辞めようかなと思っています。顧問ということで、何を頼んだかわかりにくいよりは、アドバイザー契約のような形で、町としてこういう人たちに頼めますよという環境をつくっていて、職員が困ったりしたときは、この専門はこの人に聞こうというやり方もあるかなと思っています。ちょっと初期の思いと結果が違ったものはきちんと。それは議員をさせていただいたので、過去の経緯がわかるので、最初の予算を立てたときの説明と思いが違えば、それは私の責任で変えていってもいいかなと思っています。

経常収支比率が99.9でいろいろ言われたけど、実績は93くらいじゃないかと言われるのは、自治会とか団体と一緒に、予算を組むときは入ると出るが一緒なので。ただ決算すると100%のことはないので、電気代も10万円と思っていたら9万いくらかのところを、予算としては10万円としてつけると実績では余るというのが、最後に経常収支比率が実績より低いのでというのは当たり前なので。予算を立てにくい状況ですよということで、皆さんの理解を得て進めていければと思います。予算のときで95%であっても、100億円があれば5億円は何か皆さんのために使えるということなので。99.9は100億円あっても、1千万ないということなので。そういう意味では、ちょっと工夫してそういうのが一つの目標でもいいかもしれません。ありがとうございました。

大賀総務課長 ありがとうございました。他の方、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

すみません、これもどうでもいい話かもしれませんが、レジユメの裏を見てほしいんですけど。執行体制、各課の名前が書いてあります。最近できた名前が長

いんですよね。それで、これ自己紹介したりするのに、全部これ住民に対しても、医療福祉政策課長の坂本ですとかって言っているのかなと思って。もっと町民に寄り添うなら、言いやすい名前とか、覚えやすい名前の方がいいんじゃないかと思うんです。特に、2、3年前にできた学びのまち推進課とか、これは事務分掌も変えたみたいですけど、その反省や振り返りはどうだったかもあるので、ちょっと聞いてみたいんですけど。

大屋町長 たくさんそういうご意見をいただきます。言っても些細なことだと思われることでも伝えていただくと、皆さんの声だということであれば、変えないといけないと思うので、極力そういうことも伝えていただけるとありがたいです。

今、課長会議等で話をしているのは、組織としては2年間はそのままさせていただきますというお願いをしています。2年間はこの名前で申し訳ないですが許してください。人の配置を変えるのは、今に合わせて変えていかなきゃいけないけど、名前を変えちゃうと、印刷物から何からいろいろお金がかかって、やってみただけど、ああやっぱりというわけにはいかないで、2年間考えさせていただいて、きちんとわかりやすく。

それで、いろいろなところから言われたのは、漢字二文字にしてくださいとも言われました。そうかなとも思います。総務課とか、課長にしても総務課長くらいが言いやすいかなとも思います。あとは中身がわかって。元々、町が思ったイメージと実際に皆さんが受け取るのが、わかりにくい、親しみにくい、縁が遠くなってしまおうというのは本末転倒なので、名前も含めて事務分掌も含めて2年間かけてしっかり話し合いをさせてもらった上で、変えさせていただければと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。その他は、ございませんでしょうか。

それでは、ないようでございます。予定をしておりました時間にまもなく閉会いたします。閉会にあたりまして、白須副町長からごあいさつをお願いします。

4. 副町長あいさつ

副町長に白須です。本日は長時間にわたり、様々なご意見をいただきました。ありがとうございます。時間が限られておりましたので、まだまだ質問したい方もいらっしゃるかと思います。冒頭に町長からありました、このQRコードを読み込んでご意見をいただいたり、それからお知り合いの職員にお伝えいただいても結構ですので、ご質問なりいただきたいと思っております。

話の中にもありましたが、現在、令和7年度の予算編成作業中です。大屋町長が就任されて初めての予算編成となっておりますが、例年、予算編成をするときには、町長から来年の重点項目とか、予算編成の基本方針を示されます。この度は、財政改善ということで、それ自体が予算の編成方針、あるいは重点項目となっている状況でございます。各課でいろいろ検討されて、今やっている事業の検証等を行いまして、その結果を今、町長が査定しているところでございます。その内容によりまして、少なからず、皆さんの生活とか、事業活動に影響を及ぼすこともあるかと思っております。

しかしながら、今日も意見がありましたが、財政が厳しいからできないという説明ではなくて、こういう理由でこうなるんだということをしっかりと、その際には説明させていただきますので。当然、皆さんからいろいろなご意見もあると思いま

すので、しっかりとご意見をいただきたいと思います。その次の年の予算編成の参考にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

これから中長期的に考えてみますと、やはり小中学校の在り方とか、地域コミュニティの在り方、そういったことも皆さんと一緒に進めなければならないと考えております。しっかりと情報を皆さんと共有した上で、皆さんと協働してそういった取り組みを進めて参りたいと思いますので、ぜひ、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日は、本当に寒い中、夜にかけてお集まりいただきましてありがとうございます。お帰りの際には、交通安全に十分気を付けていただいて、事故のないように帰っていただきたいと思います。簡単ではございますが、閉会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

大賀総務課長 ありがとうございます。以上をもちまして、閉会といたします。気をつけてお帰りください。